

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公開番号】特開 2019-28772 (P2019-28772A)

【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2017-148063 (P2017-148063)

【国際特許分類】

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

【F I】

G 0 6 T 19/00 6 0 0

G 0 6 T 19/00 C

G 0 6 F 3/0481

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 28 日 (2020.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

仮想物体と現実画像とを重畳して表示する表示手段と、
前記仮想物体の属性に基づいて、当該仮想物体への接触を判定するための条件を決定する決定手段と、

前記決定手段により決定された条件により判定される前記仮想物体への接触状態を通知する通知手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記属性は仮想物体の硬さに関する属性であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記属性は仮想物体の危険度に関する属性であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記仮想物体への接触の判定に用いる接触判定用仮想物体を生成する生成手段を備え、
前記決定手段は、前記仮想物体の属性に応じた前記生成手段により生成された接触判定用仮想物体を、接触を判定する条件として決定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記通知手段は、前記決定手段により決定された接触判定用仮想物体への接触を、前記仮想物体への接触として通知することを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記通知手段は、前記仮想物体の表示を変更することで、当該仮想物体への接触を通知することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記通知手段は、前記仮想物体と、他の仮想物体またはユーザの身体との接触を通知す

ることを特徴とする 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

情報処理装置を

仮想物体と現実画像とを重畳して表示する表示手段と、

前記仮想物体の属性に基づいて、当該仮想物体への接触を判定するための条件を決定する決定手段と、

前記決定手段により決定された条件により判定される前記仮想物体への接触を通知する通知手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 9】

仮想物体と現実画像とを重畳して表示する表示手段と、

前記仮想物体の属性に基づいて、当該仮想物体への接触を判定するための条件を決定する決定手段と、

前記決定手段により決定された条件により判定される前記仮想物体への接触を通知する通知手段と、

を備えることを特徴とする情報処理システム。

【請求項 10】

仮想物体と現実画像とを重畳して表示する表示工程と、

前記仮想物体の属性に基づいて、当該仮想物体への接触を判定するための条件を決定する決定工程と、

前記決定工程により決定された条件により判定される前記仮想物体への接触を通知する通知工程と、

を含む情報処理システムの制御方法。